



「STAND 立ち上がる選択」

おおよぶのぶこ
大藪 順子 著

「レイプ被害の実話」と聞いて、「自分が読む必要はない」と決めていたが、トラウマからの回復プロセスに関心を持ち、先日買い求めた。

書かれた出来事そのものは卑劣な犯罪なのだが、文章は軽快で読みやすい。8年前に起きたことを思い出しながら綴っているのに、会話は昨日のことのようにイキイキと描かれている。この体験談が書かれたのには、以下の理由がある。

- ・米国ではレイプ被害者が多く、女性の4人に1人という。(男性の被害者もいる)
- ・恥じるべきなのはレイプ被害者ではなく加害者のほうである。
- ・性犯罪は、被害者の心を殺す人権侵害である。
- ・被害者は加害者に直接殺されることはなくても、最悪の場合、心の傷に苦しみ続け、中には自殺してしまう人もいる。(著者も、立ち直ったと思っただけから、突然のフラッシュバックやうつ症状に苦しんだ)
- ・体験を語り合うことによって、被害者同士の心の傷が癒されていくことが多い。
- ・残念なことに、教会の中でも性犯罪が起こるが、事件が表に出ず加害者が罰を受けないまま被害が続くことがある。

「被害者」より、「サバイバー(生き残り)」のほうが自尊心を

高める用語らしく、本書でも「サバイバー」が多用されている。

著者は、シカゴ郊外のモリントンという町の自宅アパートで就寝中に、鍵を壊して侵入してきた見知らぬ男からいきなり性被害に遭う。もちろん著者には何の落ち度もなかった。すぐに警察に届け出、友人にも知らせ、事情聴取を受けた。医学的な処置も終わって、友人のアパートで休ませてもらっていた著者は、スタンドのそばにあった聖書の一節に目を奪われた。

「立ち上がりなさい。これはあなたの仕事です。わたしはあなたを助けます。心を強くしてこれを行いなさい」(エズラ記10章4節)
(英語聖書からの直訳。本書のタイトルは、この聖句の最初のことばから取られた)

「立ち上がりなさいと言われても、今の私にそんな力はない。だいたい仕事とはなんだろう？ この事件の後私がしなければならぬ事があるともいうののだろうか。いや、私は被害者なのだ。この責任は加害者がとるべきで、被害者の私がする仕事などあるはずがない」(19頁)

しかし、神は大藪さんに仕事を留意しておられた。それは、まもなく捕まった犯人がすぐに刑務所から出て来れないよう、弁護士と努力することにとどまらず、同じような被害に遭った人を力づけること、そしてこのような被害を事前に防ぐ社会活動であった。それ

は本人にさえ予想できない展開だった。

まずは、フォトジャーナリストとして新聞社に勤めた経験を生かし、自分と同じようなレイプ被害者の撮影と取材を個人的なプロジェクトとして立ち上げた。

牧師の子である大藪さんは、子どもの頃から教会生活をしてきたが、被害後に移住したネブラスカ州オマハでは、教会選びに苦労した。説教と交わりが、きれいごとにしに感じられなかったからだ。結局たどり着いたのが、ギャングメンバーも来るといいう一風変わった黒人教会(グレイス・アポストリック・チャーチ)だった。アジア人は足を踏み入れたことがないような雰囲気。しかし、そこで著者は心の癒しを見だし、将来の伴侶まで見つけるのだから世の中わからないものである。

大藪さんは、その教会のパーロ―牧師に勧められるまま、加害者に向けて手紙を書き、刑務所宛に投函した。

「デイビットへ……今、神様が私にあなたを許すようにと言っている気がします……」

「私は意を決して郵便局へ向かった。いつの間にか、どうにでもなれという開き直った自分がいる。何よりも私のバックには神がいる」(254頁)

あるサバイバーはこう言った。「一番の仕返しは幸せになること」

大藪さんは、このことばを他のサバイバーにも伝える。

要所要所でみことばが支えとなった。

「悲しんでほならない。あなたがたの力を主が喜ばれるからだ」(ネヘミヤ記8章10節)

自分よりもひどい目に遭ったサバイバーをかわいそうに思うことはない。神の計画は、将来と希望を与えるのだから……
プロジェクトが資金難で心配になった時にも、みことばが迫ってきた。

「あなたがたの父なる神は、あなたがたがお願いする先に、あなたがたに必要なものを知っておられる」(マタイ6章8節)

「レイプで人生は終わらない。逆に受けた悲しみや苦しみの何倍もの喜びを、神はサバイバーの一人ひとりが被害に遭う前から用意されている」(347頁)

本書を読んで再び生きていく力を与えられる被害者が一人でもいれば、著者にとっても大きな励みしだろう。
(前島常郎)



大藪順子著 「STAND 立ち上がる選択」

定価 1500円+税
発行 いのちのことば社・フォレストブックス
本書は、ファミリー・フォーラム・ジャパンでは取り扱っておりません。